

「介護の日」 記念講演会

一人ひとりの多様性と価値を認める社会創り

主催 一般社団法人 千葉県介護福祉士会

令和3年11月7日 日

13:00~15:30 (受付 12:30~)

オークラ千葉ホテル

千葉市中央区中央港1-13-3

(会場までの詳細は裏面をご覧ください)

テーマ みんな言葉を持っていた・代弁する責務

記念
講演会

みんな言葉を持っていた
～輝くんの言葉を引き出せて～

國學院大學 人間開発学部 初等教育学科

教授 柴田 保之氏

フロア
ディスカッション

共生社会とアドボカシー



重い障害があっても
言葉を持っていたる
やっと表現できた
「よろこび」

定員 / 70名 (申込先着順) 参加費 / 無料

受講対象

千葉県内の介護・福祉施設職員、居宅サービス事業所従事者、介護実習指導者、
介護福祉士養成校学生、介護福祉士養成校教員、その他

申込方法 / 裏面の申込書にご記入の上、下記の本会事務局へFAXにてお申込みください。

申込締切 / 令和3年10月25日(月)

お問い合わせ 一般社団法人 千葉県介護福祉士会 事務局

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉センター3階

TEL 043-248-1451

FAX 043-248-1515

E-mail kai5nji@poem.ocn.ne.jp

柴田 保之 氏

しばた やすゆき

- 國學院大學 人間開発学部 初等教育学科教授
- 研究分野: 重度・重複障害児の教育
知的障害児者の社会教育



プロフィール

1958年大分県生まれ。1981年東京大学教育学部教育心理学科卒業後、同大学院を経て、1987年4月から國學院大學に勤務。障害児教育を学ぼうと進学した教育心理学科の授業で、重複障害教育研究所を設立した中島昭美先生に出会い、以後、先生のもとで重度重複障害児の実践的研究に携わる。障害の重い人たちの自発的な活動を生み出すために自作教材を介した関わり合いを行う中で、障害の重い人たちが豊かな言葉の世界を有していることを次第に気づかされる。1981年より町田市障害者青年学級で知的障害のある人たちと関わり合いの中で、重度障害のあるメンバーをきっかけに、障害者たちの内なる言葉を聞き取ることができるようになる。これにより、本当の気持ちをもとにした活動(きんこんの会など)を展開している。

[著書]「みんな言葉を持っていた — 障害の重い人たちの心の世界」オクムラ書店 / 「社会に届け、沈黙の声 — 知的障害と呼ばれる人々が語る、津久井やまゆり園事件、出生前診断、東日本大震災」萬書房

アクセス

オークラ千葉ホテル 3F ウィンザー

〒260-0024
千葉市中央区中央港1-13-3

JR京葉線または千葉都市モノレール
「千葉みなと駅」徒歩5分



申込書

ご記入の上、千葉県介護福祉士会までFAXでお送りください(送付状不要)

FAX 043-248-1515

研修名等	令和3年『介護の日』記念講演会
日時	令和3年11月7日(日) 13:00~15:30
会場	オークラ千葉ホテル 3F ウィンザー
(ふりがな) 氏名	
会員	会員(会員番号) ・ 非会員
住所	〒
連絡先	TEL (自宅・携帯・職場)
勤務先	
備考	

*当研修を通じて取得した個人情報、当研修の運営に関する業務以外の目的には使用いたしません。